

センターだより

第 7 号

平成 30(2018)年 12月 4日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町 2-1

TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

吹田市教育委員会 委嘱研究学校の取組紹介

委嘱研究学校 吹田市立千里丘北小学校 『千北いきいきマーケット』

千里丘北小学校の授業研究に学ぶ 10月18日(木)

千里丘北小学校では、研究テーマとして『いきいきプロジェクト2018』を設定しています。今回の『千北いきいきマーケット』はそのプロジェクトの一環で、練習してきた英語によるコミュニケーションを実際に使える場として設定し、必然的に英語を使いたくなるような仕組みを考え実行されたものです。

『千北いきいきマーケット』は、まさに文化祭的な活動を英語で行う、たいへん楽しい活動となっていました。英語を必然的に使う場の設定を学校全体に広げたものだけでなく、児童や教職員はもちろんのこと、保護者の方々や追手門学院大学の学生ボランティア、スカイプでつながった海外の方など、まさに千里丘北小学校が掲げる教育目標の「グローバル（グローバル＋ローカル）」に様々な人々が関わり合いながら、子供たちも生き生きと自然に英語でやり取りできる活気ある雰囲気がいへん印象的でした。



研究協議会では、追手門学院大学の松宮新吾教授から指導助言がありました。松宮教授からは、学びに向かう・学び合う縦のつながりができていることや、1～6年生までの一貫性ができていることのすばらしさについて評価されていました。今後については、コミュニケーションの対象を意識した、本当の意味でのコミュニケーション活動を意識することの大切さについて助言され、充実した研究協議会となっていました。

委嘱研究学校 吹田市立高野台中学校 『『特別の教科 道徳』における学習指導と評価』

高野台中学校の授業研究に学ぶ 10月22日(月)

京都産業大学の柴原弘志教授より、『『特別の教科 道徳』における学習指導と評価』と題して講話がありました。①「評価の観点」と「評価の視点」から質の高い学習指導を考える、②道徳科における学習指導と評価、の2本の柱を中心に、道徳の授業づくりのヒントがたくさん得られる内容となりました。柴原教授からは、

○子供の良い姿への評価（言葉かけ）に力を入れることが、子供の「方法知」への学びにつながり、このことは通知票の記述よりはるかに重要である。

○生徒自身が「自分が」「自分に」「自分で」問う道徳の授業が大切である。

○「聴く」ことのうまい先生は、道徳の授業もうまい。児童生徒の発言を傾聴して受け止め、発問に対する児童生徒の発言などの反応を、適切に指導に生かすことが重要である。

等を強調されていました。

評価のための具体的な工夫や、評価文例等の資料についても詳しく説明があり、理論と実践の両面からこれからの道徳の授業改善について具体的に考えられる校内研修となりました。



研修 Pick up

【研修番号】218 ※ステップアップ研修Ⅱを兼ねる
 【日時】12月7日（金）15:45～17:00
 【場所】教育センター 視聴覚室
 【研修名】「発達障がいと不器用」
 【講師】京都教育大学

准教授 牛山 道雄 先生

【研修について】

「はさがうまく使えない」「靴ひもをうまく結べない」など、不器用な子供たちがクラスにいませんか。このような子供たちに、どのような支援が必要なのか、また、できないことに注目するより“どうすればできるようになる”かを考えることの大切さについて、京都教育大学の牛山道雄先生にお話をいただきます。

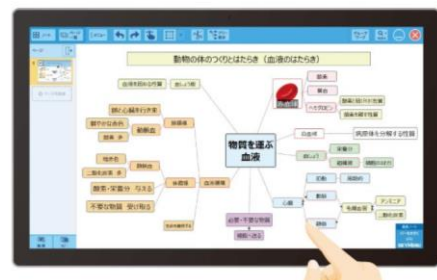
お断り

平成30年11月26日（月）より吹田市立教育センター（男女共同参画センター）の改修工事実施に伴い、駐輪場が一時縮小されることから、研修受講者の自転車等の駐輪が困難となります。従前よりお願いしていることですが、研修会場へは、公共交通機関の利用をお願いします。

情報教育機器の利活用について～SKYMENU Class 編～

★活用してみよう！『マッピング』機能★

今回も、教職員用の着脱式ノートパソコンやコンピュータ教室に配備されている児童・生徒用の着脱式ノートパソコンにインストールされている「SKYMENU Class」を紹介します。普通教室等で着脱式ノートパソコンをタブレットとして活用する際に授業を支援するソフトウェアです。今回は、その中から『マッピング』機能（右図参照）をご紹介します。この機能は、カードを使って元となるテーマに関連するキーワードをクモの巣状につなげていくことで、子供たちが自分の思考を可視化できます。タブレットを活用すれば、何度でも繰り返し試行錯誤して発想を広げていくことができます。



★『マッピング』機能の利用方法★

- ①Windowsにログイン後、デスクトップの右端にある『SKYMENU Class』のツールバーから、「アプリ」→「発表ノート」をタップする。
- ②「発表ノート」画面が表示された後、画面左上部にある「マッピングでノートを作成」をタップする。
- ③「発表ノート」画面上に作成した「ノート」が表示された後、「ノート」をタップする。
- ④作成した「ノート」の下に「開く」メニュー等が表示された後、「開く」メニューをタップする。

経験年数の少ない教職員 Q&A

（学級づくり・児童生徒指導 編）

今月号は「学級づくり・児童生徒指導」についてです。

Q

係活動について、活動量のばらつきが出てしまいました。

学級の子供たちが納得して取り組めるよう、係の種類や取組内容について、学期ごと（一月ごと）に見直してみるといいですね。



Q

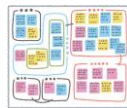
同じ子供ばかりに注意をしてしまい、その子供に対し周りの子供たちの関わりがきつくなってしまいました。

互いのよいところに目を向けられるような関係を学級に築いていくことが大切です。注意することがあれば、次はほめることを心がけましょう。注意で促すよりも、ほめることで周りをひきこんでいくという意識で。





研修報告



ステップアップ研修Ⅰ「授業づくり3・4」（受講者代表授業）

各校種の代表者授業を実施しました。今年度のテーマは、ICT機器の活用です。その様子を報告します。

●11月8日（木）南山田小学校 小林 さくら 教諭

小学校第4学年 国語科 単元名 一秒の言葉

ICT機器の活用について、小林教諭はワークシートを黒板に拡大提示し、児童が記入する際の注意点を書き込みながら説明していました。そのため、児童は着目点を理解しやすく、ワークシートをスムーズに記入することができていました。また、児童が発表する際に、小林教諭がタブレットのカメラ機能で各班がまとめた意見を撮影し、黒板に投影しました。まとめた意見が拡大提示されたため、周りの児童は発表内容をより理解することができていました。加えて、黒板に転記する時間を短縮できたため、児童の活動時間をより確保することができていました。

助言者の佐井寺小学校 大谷 誠 教諭からは、ICT機器を活用する際にねらいを定めることの重要性や、ご自身が普段から実践されているICT機器の活用事例等について、お話をいただきました。



●11月12日（月）青山台中学校 青木 克哉 教諭

中学校第3学年 英語科 単元名 Lesson5 までの復習

ICT機器の活用について、青木教諭は板書イメージ等をプレゼンテーションソフトで事前にまとめて、黒板に拡大提示していました。他クラスや来年度以降の同学年でも活用や英語科教員で共有できるため、教材作成時間を削減することが期待されます。加えて、黒板に転記する時間を短縮することができたため、生徒の活動時間をより確保することができていました。また、生徒がスピーキング等のアクティビティをする際に、活動時間を円グラフ等で黒板に拡大提示していました。そのため、生徒は経過時間を視覚的に把握することができ、計画的に進めることができていました。

助言者の佐井寺中学校 南迫 勝彦 教諭からは、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのICT機器の活用方法を、事例をあげて説明していただきました。また、教員自身が普段からICT機器を活用し慣れなければならないことも強調されていました。



10年経験者研修 代表研究授業

●10月23日（火）古江台小学校 柄岡 悠 教諭

小学校第4学年 道徳科 主題「それでも言える？」A-1 善悪の判断

資料 学研 みんなの道徳 4年 カマキリ

資料の主人公たちは、みんなに喜ばれる新聞をつくるため、インターネット上の魅力的な情報を手に入れるために、名前を入力してしまいます。

善悪を判断し正しい行動をすることは大切です。しかし、自分の望みと周りの声に正しい判断と行動は難しくなります。柄岡先生は、児童が教材の場面を自分ごととしてとらえ、葛藤を引き出し、じっくりと考えさせるため、発問設定、板書計画に工夫をこらしました。さらに、児童が一度考えを動作化することによるゆさぶりを仕掛け、主題にせまらせます。「やっぱりだめなことだし、入力した後いろんな人に迷惑かけるよ。でも、友達の声に反対するの難しいな。」と児童が語ります。「道徳的な価値の内容は大切なのだ。」で終わるのではなく、実行することの難しさも考え葛藤する中で、善悪の判断についての理解を深める授業となりました。

授業を講評いただいた、北山田小学校 川添 龍次 首席からは、考え、議論する道徳科授業をつくるためのポイントや、授業者が理解すべき道徳性の発達についてお話しいただきました。



●11月15日（木）第二中学校 中嶋 麻衣子 教諭

中学校第2学年 保健体育科（体育分野 G ダンス）

単元名 ダンス（現代的なリズムのダンス・創作ダンス）

イメージマップの活用、創作の基本となる動作スキルや隊形のバリエーションを提供し、生徒はそれらを共通ワードに話し合い、自分たちのダンスを創り上げていきます。創作過程の生徒の表情から、創り上げること、完成に向けて練り上げることを楽しむ表情が印象に残りました。また、ループリリックの提示、自己評価・相互評価シートを活用した指導と評価の一体化を意識した工夫も提案いただきました。「ダンス指導を難しいと感じている先生は多いはず。しかし、コピーして踊らせるだけではいけない。生徒同士がイメージを体で表現することに楽しさをおぼえ、仲間同士で高め合い、認め合い、創り上げることを楽しませたい。」中嶋先生がダンス指導にこめたねらいが具現化された授業でした。

授業を講評いただいた、南千里中学校 酒井 睦美 教頭先生には、授業の助言とともに、10年目を迎える先生方に自己を振り返り、人間力を高める上で大事にすべきことを自身の経験をもとにお話しいただきました。





12月・1月の教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
平成30年度【吹田市立教育センター 教育研究報告会】			子育て青少年拠点 夢つながり未来館 ゆいぴあ (多目的ホール・多 目的リハーサル室・ 多目的会議室)	1月30日(水) 14:00～17:00	教職員
ライフ ステ ージ にあ った 研 修	初任者研修 フレッシュ研修 (新規任用講師)	38 授業づくり9「小中一貫教育について」 —中学校における授業参観と研究協議— 授業者 豊津西中学校 指導教諭 吉田 昌司(英語科) 講義 吹田市教育委員会 指導主事	豊津西中学校	1月15日(火) 13:30～17:00	小学校初任者教員(火曜班) 新規任用講師
		39 授業づくり9「小中一貫教育について」 —中学校における授業参観と研究協議— 授業者 山田中学校 教諭 荻野 豊(数学科) 講義 吹田市教育委員会 指導主事	山田中学校	1月17日(木) 13:30～17:00	小学校初任者教員(木曜班) 新規任用講師
		40 授業づくり7「小中一貫教育について」 —小学校における授業参観と研究協議— 授業者 東山田小学校 教諭 西田 まなみ 講義 吹田市教育委員会 指導主事	東山田小学校	1月24日(木) 13:35～17:00	幼稚園・中学校 初任者教員 新規任用講師
	フレッシュ研修	43 解決志向ブリーフセラピーについて学ぶ 学校医部会 吹田市医師会 こどもクリニック立花 医院長 立花 賢治	教育センター 視聴覚室	12月20日(木) 15:30～17:00	新規採用養護教諭 任用1年未満の養護助教諭 ※養護教諭研修を兼ねる
授 業 づ く り 研 修	授業づくり研修 (研究グループ 公開)	149 小学校3年生道徳科授業(道徳教育研究グループ提案授業公開) 資料「パラリンピックにねがいをこめて」(学研 みんなのどうとく) 授業者 北山田小学校 首席 川添 龍次 指導助言 大阪教育大学 教授 金光 靖樹	北山田小学校	12月17日(月) 14:30～17:00	教職員
	授業づくり研修 (国語)	142 小学校国語科 授業づくり研修(委嘱研究学校 佐竹台小学校共催) 明星大学 客員教授 白石 範孝	佐竹台小学校	1月29日(火) 14:00～17:00	教職員
ス タ ー 研 修 リ ー ダ ー	スクール リーダー研修C (事務職員)	85 「『事務をつかさどる』を実践するために ～学校運営と人材育成～」 OfficeAIM 代表 森川 あやこ	教育センター 視聴覚室	12月11日(火) 15:30～17:00	事務職員(主査・主幹)
教 育 特 別 研 究 支 援	特別支援教育	218 発達障がい理解と実践③ 「発達障がいと不器用」 京都教育大学 准教授 牛山 道雄	教育センター 視聴覚室	12月7日(金) 15:45～17:00	教職員 ※ステップアップ研修Ⅱ 選択研修を兼ねる
専 門 職 研 修	養護教諭 研修	97 解決志向ブリーフセラピーについて学ぶ 学校医部会 吹田市医師会 こどもクリニック立花 医院長 立花 賢治	教育センター 視聴覚室	12月20日(木) 15:30～17:00	養護教諭・助教諭 ※フレッシュ研修を兼ねる
	事務職員 研修	90 チーム学校における事務職員の役割 吹田市教育委員会 指導主事 浦 憲太	教育センター 視聴覚室	1月15日(火) 16:00～17:00	事務職員

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。

12月・1月のさつきらる一む(初任者教員等相談室)は、
12/11(火)、13(木)、1/8(火)、10(木)です。
申込は、教育センターまで(Te-Comp@ssメールまたは研修申し込みシステムにて)

平成30年度吹田市立教育センター 教育研究報告会の開催について

第1次案内でもお知らせしましたが、吹田市における幼稚園・こども園、小・中学校、教育研究会、委嘱研究学校、教育センターの調査研究グループ等の取組や研究成果を発信します。第2次案内にて、詳細をお伝えします。各園2名程度、各校5名程度の参加をお願いします。

日時 平成31年1月30日(水) 14:00～17:00

会場 子育て青少年拠点 夢つながり未来館 ゆいぴあ

多目的ホール(第1分科会) 多目的リハーサル室(第2分科会)、多目的会議室(第3分科会)